

報 告

第29回医学情報サービス研究大会参加記

井上智奈美

医学情報サービス研究大会は、医学、薬学、歯学、看護学、保健などの生命科学関連領域にかかわる情報サービス関係者が集まり、相互に情報交換をする研究大会です。毎年開催されており、今回は聖路加看護大学（2012年8月25日～26日）で開催されました。毎年趣向を凝らした内容となっていますが、今回は新しい試みがありました。ワールドカフェと複数企画の並行開催、優秀ポスター賞の表彰です。

ワールドカフェは、一緒のテーブルに座った者同士で自由に話し合い意見交換するというものです。話し合った内容は自由に一枚の紙に書き込み、一定時間が経つと席替えをして、またそのテーブルにある紙に追加して書き込んでいきます。終わってからそれらの紙は廊下に張り出されました。違う人々が書いているのに、似たような内容が書き込まれていました。館種は違えども図書館員の持つ共通の思いが語られていたようです。

複数企画の並行開催は、どの企画に参加するか悩みました。しかし、大きな会場ではなく中小規模の会場での開催は演者とフロアとの距離が近く、質疑応答がしやすく感じました。

距離感が近いといえばポスターセッションも同じです。今回は、気に入ったポスターに投票することができ、最後に得票数の多かった発表者が表彰されました。

さまざまな図書館員と情報交換できる場があったため、いつもよりも多くの人とお話す

ることができ、普段はあまりお話しする機会のない方とちょっとした会話ができました。例えば、大学図書館では複数の図書館員がグループで業務を行っています。当院でも少人数ですが、複数で業務にあたっています。大学図書館員の方の意見を聞くことで、複数の担当者間での知識の共有をどのようにはかっていくかの参考になりました。

企業展示では、昨今利用者から要望の多い最新のオンラインジャーナル情報を入手できました。

また、病院紀要が医学図書館界からも求められていることを知りました。病院図書館担当者が、病院紀要の編集・発行・オンライン化に携わることは多いです。今回の要望を知り、より入手しやすい環境を構築する必要性を感じました。

医学情報サービス研究大会では、毎年かわい大会グッズが作製・販売されています。今回もロゴマークを利用したさまざまなグッズが販売されていました。てぬぐいとマグネットを購入して図書館員向けのおみやげにしました。

